



開示補足説明資料

# 中東から世界へ： 株式会社海帆のグローバル・トランスフォーメーション

---

～UTT Group Corpsとの提携～

# 提携の背景と戦略的意義

## 評価の理由

グローバルIT企業とのPPA契約実績と開発能力が、海外金融機関およびUTT社より高度に評価されました。

Non-FIT低圧太陽光発電所

330 件

国内開発予定

合計出力 (DCベース)

31.35 MW

ACベース: 16.335 MW

## 戦略的パートナー



UTT Group Corps会長との業務提携協議

### UTT Group Corps

📍 アブダビ (UAE) 拠点

航空宇宙、金融など多岐にわたる事業を展開する国際的企業グループ

豊富な資金力を背景としたグローバル投資

中東地域における強力なネットワーク

## 提携の狙い

飲食事業の多角展開とデータセンターの再生可能エネルギー化における最重要パートナーシップを構築します。



飲食事業  
実体経済



データセンター  
デジタル経済

事業多角化: 飲食事業の海外展開加速

再エネ活用: データセンターへのクリーンエネルギー供給

安定成長: 二本柱による長期的収益基盤の確立

# 飲食事業の展開エリア戦略

## コアコンセプト

「寿司」を中心としたハイエンドな日本食ブランドの確立。  
本物の日本の味とホスピタリティを提供し、富裕層をターゲットとした高付加価値型の店舗展開を推進します。

## UTT社ネットワークによる優位性

✓ **一等地の確保** 現地の有力パートナーシップにより、通常参入が困難なプライムロケーションへの出店が可能。

✓ **文化普及の加速** UTT社の欧州・中東拠点網を活用し、日本食文化を戦略的にブランディング・普及。

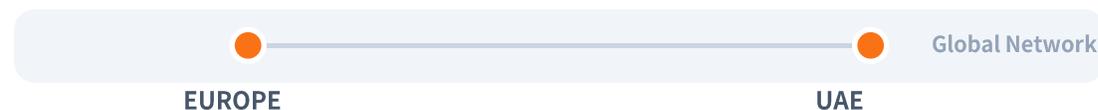
## 進出拠点（ターゲットエリア）

### 中東エリア (UAE)

- **アブダビ** UTT社本拠地
- **ドバイ** 金融・観光ハブ

### 欧州エリア

- **ジュネーブ** スイス
- **モナコ** (検討中)



# データセンター・再エネ事業

実体経済（飲食）とデジタル経済（データセンター）の二本柱による、長期的かつ安定的な成長モデルを構築。



REAL ECONOMY

## 飲食事業

- **キャッシュフローの創出**

ハイエンド日本食ブランドの展開により、安定的かつ高収益なキャッシュフロー基盤を確立。

- **ブランド価値の向上**

日本文化の発信拠点として、「海帆」のブランド認知をグローバル市場で拡大。



DIGITAL ECONOMY

## データセンター・再エネ事業

- **AI時代のインフラ参画**

UTT社がアブダビで計画する自社運用データセンター事業へ参画し、成長市場を取り込む。



- **クリーンエネルギー化（再エネ）**

膨大な電力を再生可能エネルギーで賄う「グリーンDC」化を共同推進し、環境価値を創出。

GROWTH MODEL 異なる経済圏の融合による、ボラティリティを抑制した持続的成長

# 今後のロードマップと体制

## アブダビ合併会社（Joint Venture）設立方針

UTT Group Corpsとの提携を実効性あるものにするため、UAE・アブダビに現地法人（合併会社）を設立する方針です。この法人を通じて、海外飲食事業およびデータセンター運営事業を統括・推進します。

Phase 1	Phase 2	Phase 3
<p><b>2026年2月</b> <b>基本合意・提携開始</b> 基本合意書（MOU）締結 業務提携の正式開始</p>	<p><b>2026年3月～6月（予定）</b> <b>実行体制の構築</b> 合併会社（JV）の設立準備 現地拠点（オフィス・店舗）選定 詳細事業計画の策定</p>	<p><b>2026年6月以降（予定）</b> <b>事業拡大・収益化</b> 海外拠点の順次開設 飲食店舗のオープン DC事業への参画実行 連結収益への貢献開始</p>

**【業績への影響】** 現時点において、2026年3月期の業績に与える影響は軽微またはなしと見込んでおりますが、今後開示すべき重要事項（合併会社設立の詳細等）が決定した場合には、速やかに適時開示を行います。

OUR VISION

**「海帆」は、日本を代表する  
グローバル・プラットフォームへ進化します。**

UTT Group Corpsとの提携を翼とし、  
中東から世界へ、新しい挑戦を推進してまいります。

世界を舞台とした、海帆の第二の創業にご期待ください。